

鶏肉情勢

令和元年10月2日 更新

全農チキンフーズ(株)

項目		内容		実績																																																																																																
生	1. 国内	(1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会9月下旬実施)によると、8月の推計実績は、処理羽数57,472千羽(前年比102.4%)・処理重量167.2千ト(同103.5%)と羽数・重量とも前年を上回り、猛暑による増体の低下が懸念されたものの順調な生育となり、前月時点の計画値(処理羽数同102.3%・処理重量同103.45)並となった。主な地域別では北海道・東北地区が前年比102.2%(前回計画103.1%)、南九州地区が同102.8%(同101.6%)となった。なお、生鳥処分は廃棄合計2.78%(前年差△0.2%)となっている。 (2) 9月-11月計画では、9月は、処理羽数(同104.0%)・処理重量(同104.7%)とも昨年の北海道地震・西日本の台風等による処理数減の反動等があり、さらに前月時点での計画よりそれぞれ前年比を0.2%上方修正され、大きく上回る計画となっている。10月が処理羽数(同101.9%)・処理重量(102.4%)、11月も処理羽数(同102.6%)・処理重量(同102.6%)ともに前年を上回る計画となっている。今後台風・大雨等の影響が心配されるが増産傾向に変わりなく、当面は潤沢な供給が続く見通しとなっている。朝夕の気温低下とともにイベント等も増加し需要の伸びも期待されるが、消費増税などの影響がどの様になるのか、今後の需給動向に注視が必要と考えられる。		生産状況 単位:千羽、千トン、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R元年8月推計実績</th> <th colspan="2">R元年9月計画</th> <th colspan="2">R元年10月計画</th> <th colspan="2">R元年11月計画</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入雛羽数</td> <td>65,377</td> <td>100.5%</td> <td>63,617</td> <td>102.4%</td> <td>70,323</td> <td>101.8%</td> <td>61,304</td> <td>101.4%</td> </tr> <tr> <td>処理羽数</td> <td>57,472</td> <td>102.4%</td> <td>56,543</td> <td>104.0%</td> <td>62,031</td> <td>101.9%</td> <td>60,983</td> <td>102.6%</td> </tr> <tr> <td>処理重量</td> <td>167.2</td> <td>103.5%</td> <td>165.8</td> <td>104.7%</td> <td>184.3</td> <td>102.4%</td> <td>181.6</td> <td>102.6%</td> </tr> </tbody> </table> ※参考資料: 全国食鳥新聞発行「PMN」									R元年8月推計実績		R元年9月計画		R元年10月計画		R元年11月計画		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	入雛羽数	65,377	100.5%	63,617	102.4%	70,323	101.8%	61,304	101.4%	処理羽数	57,472	102.4%	56,543	104.0%	62,031	101.9%	60,983	102.6%	処理重量	167.2	103.5%	165.8	104.7%	184.3	102.4%	181.6	102.6%																																													
					R元年8月推計実績		R元年9月計画		R元年10月計画		R元年11月計画																																																																																									
数量	前年比	数量	前年比		数量	前年比	数量	前年比																																																																																												
入雛羽数	65,377	100.5%	63,617	102.4%	70,323	101.8%	61,304	101.4%																																																																																												
処理羽数	57,472	102.4%	56,543	104.0%	62,031	101.9%	60,983	102.6%																																																																																												
処理重量	167.2	103.5%	165.8	104.7%	184.3	102.4%	181.6	102.6%																																																																																												
産	2. 輸入	(1) 財務省が9月27日に公表した貿易統計によると、8月の鶏肉(原料肉)輸入量は50.5千ト(前年比99.4%)で、日本食肉輸出入協会の予測(47.8千ト)を約2.7千ト上回った。国別ではブラジルが予測を約0.3千ト上回る36.3千ト(同109.3%)、タイも約0.5千ト上回る10.5千ト(同71.8%)となった。同協会(9月19日取り纏め)によると9月49.9千ト(同123.9%)・10月44.8千ト(同82.3%)と予測されており、「鶏肉の国内の動きは国産品、輸入品ともにあまり良くなく、国内鶏肉相場が低い中では輸入品の出番が限られ、また我が国の冷凍倉庫は満杯状況にあり、今後のブラジル産・タイ産の価格は不透明にあることから、月によって増減はあるものの、当面、現状水準で推移するものとみられる。」とコメントしている。尚、8月はトルコ他等の主要国以外からの輸入量が増加(1.87千ト(同159.5%))しており、今後の動向が気になるところである。 (2) 鶏肉調整品の8月輸入量は41.96千ト(前年比97.4%)と、前月より4.6千ト減少した。中国産が3.5千ト減少の15.28千ト(同86.6%)、タイ産も1.28千ト減少の26.22千ト(同104.85)となった。8月単月では前年比を下回ったものの1-8月累計では333.8千ト(同101.5%)となっており、量販店やコンビニ等の惣菜向け需要はクリスマス等も控え今後も伸びると思われ、この傾向は続くものと考えられる。		輸入動向 単位:千トン、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">鶏肉</th> <th colspan="3">調製品</th> <th colspan="3">合計</th> <th colspan="2">比率</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>鶏肉</th> <th>調製品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R元年5月</td> <td>46.6</td> <td>47.1</td> <td>98.8</td> <td>41.0</td> <td>42.3</td> <td>97.1</td> <td>87.6</td> <td>89.4</td> <td>98.0</td> <td>53.2</td> <td>46.8</td> </tr> <tr> <td>R元年6月</td> <td>43.4</td> <td>43.9</td> <td>98.8</td> <td>39.0</td> <td>41.1</td> <td>94.9</td> <td>82.4</td> <td>85.0</td> <td>96.9</td> <td>52.6</td> <td>47.4</td> </tr> <tr> <td>R元年7月</td> <td>53.2</td> <td>45.7</td> <td>116.5</td> <td>46.6</td> <td>45.9</td> <td>101.6</td> <td>99.8</td> <td>91.6</td> <td>109.0</td> <td>53.3</td> <td>46.7</td> </tr> <tr> <td>R元年8月</td> <td>50.5</td> <td>50.8</td> <td>99.4</td> <td>42.0</td> <td>43.1</td> <td>97.4</td> <td>92.5</td> <td>93.9</td> <td>98.5</td> <td>54.6</td> <td>45.4</td> </tr> <tr> <td>R元年累計</td> <td>363.9</td> <td>375.5</td> <td>96.9</td> <td>333.8</td> <td>328.9</td> <td>101.5</td> <td>697.7</td> <td>704.4</td> <td>99.0</td> <td>52.2</td> <td>47.8</td> </tr> </tbody> </table> ※参考資料: 全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞								品名	鶏肉			調製品			合計			比率		当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品	R元年5月	46.6	47.1	98.8	41.0	42.3	97.1	87.6	89.4	98.0	53.2	46.8	R元年6月	43.4	43.9	98.8	39.0	41.1	94.9	82.4	85.0	96.9	52.6	47.4	R元年7月	53.2	45.7	116.5	46.6	45.9	101.6	99.8	91.6	109.0	53.3	46.7	R元年8月	50.5	50.8	99.4	42.0	43.1	97.4	92.5	93.9	98.5	54.6	45.4	R元年累計	363.9	375.5	96.9	333.8	328.9	101.5	697.7	704.4	99.0	52.2	47.8						
				品名	鶏肉			調製品			合計			比率																																																																																						
当年	前年	前年比	当年		前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品																																																																																									
R元年5月	46.6	47.1	98.8	41.0	42.3	97.1	87.6	89.4	98.0	53.2	46.8																																																																																									
R元年6月	43.4	43.9	98.8	39.0	41.1	94.9	82.4	85.0	96.9	52.6	47.4																																																																																									
R元年7月	53.2	45.7	116.5	46.6	45.9	101.6	99.8	91.6	109.0	53.3	46.7																																																																																									
R元年8月	50.5	50.8	99.4	42.0	43.1	97.4	92.5	93.9	98.5	54.6	45.4																																																																																									
R元年累計	363.9	375.5	96.9	333.8	328.9	101.5	697.7	704.4	99.0	52.2	47.8																																																																																									
需	1. 家計消費	(1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、7月は、全国一世帯当たりの3畜種生鮮肉の消費(購入)数量は3,540g(前年比98.7%)、金額は5,061円(同94.5%)となった。7月は梅雨明けが遅く、気温も平年より低めに推移したこともあり、牛肉はステーキや焼肉用等の動きが鈍く数量(同95.9%)・金額(同90.6%)とも前年を下回った。豚肉も冷しゃぶ・生姜焼き等が鈍く数量(同98.7%)金額(同94.9%)とも下回った。鶏肉については前月同様相場が安価で推移したこともあり量販店等の販促回数が増加したことで購入頻度(同103.4%)・数量(100.3%)は上回ったが、金額(同99.2%)は相場安もあり僅かに下回った。		鶏肉の消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">履歴</th> <th colspan="3">数量</th> <th colspan="3">金額</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R元年5月</td> <td>1,418</td> <td>1,397</td> <td>101.5</td> <td>1,296</td> <td>1,316</td> <td>98.5</td> </tr> <tr> <td>R元年6月</td> <td>1,437</td> <td>1,366</td> <td>105.2</td> <td>1,268</td> <td>1,231</td> <td>103.0</td> </tr> <tr> <td>R元年7月</td> <td>1,298</td> <td>1,294</td> <td>100.3</td> <td>1,185</td> <td>1,194</td> <td>99.2</td> </tr> <tr> <td>R元年平均</td> <td>1,396</td> <td>1,358</td> <td>102.8</td> <td>1,285</td> <td>1,291</td> <td>99.5</td> </tr> </tbody> </table> ※参考資料: 総務省統計局HP								履歴	数量			金額			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	R元年5月	1,418	1,397	101.5	1,296	1,316	98.5	R元年6月	1,437	1,366	105.2	1,268	1,231	103.0	R元年7月	1,298	1,294	100.3	1,185	1,194	99.2	R元年平均	1,396	1,358	102.8	1,285	1,291	99.5																																																
				履歴	数量			金額																																																																																												
					当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																										
R元年5月	1,418	1,397	101.5	1,296	1,316	98.5																																																																																														
R元年6月	1,437	1,366	105.2	1,268	1,231	103.0																																																																																														
R元年7月	1,298	1,294	100.3	1,185	1,194	99.2																																																																																														
R元年平均	1,396	1,358	102.8	1,285	1,291	99.5																																																																																														
要	2. 量販・卸	(1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、8月も食品の売上高は全店ベースで昨年比98.5%・既存店ベースでも同97.3%と食関係の小売業は厳しい結果となった。部門別では惣菜のみ全店・既存店ベースで前年を上回った。畜産部門の売上高は1,037億円で全店ベースでほぼ前年並み(前年比100.3%)、既存店ベースでは下回った(同98.8%)。「牛肉は気温上昇により焼肉やステーキ用は好調であったが、気候条件によりバーベキュー用商材は好不調がわかれた。お盆期間は和牛の動きがよく、それ以外は輸入牛が好調となった店舗が多い。相場が高めに推移した豚肉は冷しゃぶ用などは引き続き動きはよいが、全体としては前年並みとなった。鶏肉は特売回数も増え回復傾向がみられた。ハム等加工肉は好不調がわかれている。」と報告されている。惣菜部門同様、鶏肉関連でも新メニューの開発による需要拡大が望まれている。		相場(年別・暦年) 単位:円 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>もも肉</th> <th>むね肉</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25年</td> <td>583</td> <td>246</td> <td>829</td> </tr> <tr> <td>H26年</td> <td>626</td> <td>294</td> <td>920</td> </tr> <tr> <td>H27年</td> <td>639</td> <td>336</td> <td>975</td> </tr> <tr> <td>H28年</td> <td>621</td> <td>255</td> <td>876</td> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>626</td> <td>315</td> <td>941</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>595</td> <td>282</td> <td>877</td> </tr> </tbody> </table>									もも肉	むね肉	計	H25年	583	246	829	H26年	626	294	920	H27年	639	336	975	H28年	621	255	876	H29年	626	315	941	H30年	595	282	877																																																													
					もも肉	むね肉	計																																																																																													
H25年	583	246	829																																																																																																	
H26年	626	294	920																																																																																																	
H27年	639	336	975																																																																																																	
H28年	621	255	876																																																																																																	
H29年	626	315	941																																																																																																	
H30年	595	282	877																																																																																																	
庫	3. 業務・加工筋	(1) 日本ハム・ソーセイジ工業協同組合調べによる7月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比107.8%の5,026千トとなった。うち国内物は同109.2%の4,190千トと前年を上回り、輸入物も同101.7%の0,836千トと上回った。1-7月累計合計でも同103.0%の32,097千トと前年を上回っている。鶏肉加工品は8月以降もさらに需要が増加すると考えられ、国産むね肉価格が比較的低位で安定していることで国産比率が高まっており、さらに国産物での製造量増加を期待したい。		在庫状況 単位:千トン、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">履歴</th> <th colspan="3">国産</th> <th colspan="3">輸入品</th> <th colspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H31年4月</td> <td>30.7</td> <td>25.9</td> <td>118.6</td> <td>122.4</td> <td>144.8</td> <td>84.5</td> <td>153.2</td> <td>170.7</td> <td>89.7</td> </tr> <tr> <td>R元年5月</td> <td>30.7</td> <td>30.7</td> <td>99.9</td> <td>122.1</td> <td>142.3</td> <td>85.8</td> <td>152.8</td> <td>173.0</td> <td>88.3</td> </tr> <tr> <td>R元年6月</td> <td>30.6</td> <td>29.3</td> <td>104.5</td> <td>123.0</td> <td>136.8</td> <td>89.9</td> <td>153.6</td> <td>166.0</td> <td>92.5</td> </tr> <tr> <td>R元年7月</td> <td>29.0</td> <td>28.5</td> <td>102.1</td> <td>127.6</td> <td>139.5</td> <td>91.4</td> <td>156.6</td> <td>168.0</td> <td>93.2</td> </tr> </tbody> </table> ※実績参考資料: 畜産日報、農畜産業振興機構								履歴	国産			輸入品			合計			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	H31年4月	30.7	25.9	118.6	122.4	144.8	84.5	153.2	170.7	89.7	R元年5月	30.7	30.7	99.9	122.1	142.3	85.8	152.8	173.0	88.3	R元年6月	30.6	29.3	104.5	123.0	136.8	89.9	153.6	166.0	92.5	R元年7月	29.0	28.5	102.1	127.6	139.5	91.4	156.6	168.0	93.2																														
				履歴	国産			輸入品			合計																																																																																									
当年	前年	前年比	当年		前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																											
H31年4月	30.7	25.9	118.6	122.4	144.8	84.5	153.2	170.7	89.7																																																																																											
R元年5月	30.7	30.7	99.9	122.1	142.3	85.8	152.8	173.0	88.3																																																																																											
R元年6月	30.6	29.3	104.5	123.0	136.8	89.9	153.6	166.0	92.5																																																																																											
R元年7月	29.0	28.5	102.1	127.6	139.5	91.4	156.6	168.0	93.2																																																																																											
相	1. 令和元年7月	(1) 推計期末在庫は国産29,045千ト(前年比102.1%・前月差△1,532千ト)、輸入品127,565千ト(同91.4%・同+4,547千ト)と合計で156,610千ト(同93.2%・同+3,015千ト)となった。生産量が1,58千ト増加し、輸入量も9,847千ト増加した。国産品の出回り量が生産量を上回ったため、国産品の在庫が微減した。輸入品は出回り量が6,23千ト増加の48.67千トとなったため前月より増加したものの、前年比でみると91.4%と減少した。		相場(月別) 単位:円、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">もも肉</th> <th colspan="3">むね肉</th> <th colspan="3">正肉合計</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R元年6月</td> <td>561</td> <td>564</td> <td>99.5</td> <td>226</td> <td>272</td> <td>83.1</td> <td>787</td> <td>836</td> <td>94.1</td> </tr> <tr> <td>R元年7月</td> <td>543</td> <td>548</td> <td>99.1</td> <td>222</td> <td>265</td> <td>83.8</td> <td>765</td> <td>813</td> <td>94.1</td> </tr> <tr> <td>R元年8月</td> <td>535</td> <td>539</td> <td>99.3</td> <td>225</td> <td>263</td> <td>85.6</td> <td>760</td> <td>802</td> <td>94.8</td> </tr> <tr> <td>R元年9月</td> <td>544</td> <td>550</td> <td>98.9</td> <td>235</td> <td>265</td> <td>88.7</td> <td>779</td> <td>815</td> <td>95.6</td> </tr> <tr> <td>R元年10月</td> <td>(560)</td> <td>570</td> <td>98.2</td> <td>(250)</td> <td>270</td> <td>92.6</td> <td>(810)</td> <td>840</td> <td>96.4</td> </tr> <tr> <td>R元年11月</td> <td>(575)</td> <td>588</td> <td>97.8</td> <td>(255)</td> <td>274</td> <td>93.1</td> <td>(830)</td> <td>862</td> <td>96.3</td> </tr> <tr> <td>R元年平均</td> <td>588</td> <td>596</td> <td>98.7</td> <td>237</td> <td>285</td> <td>83.2</td> <td>825</td> <td>881</td> <td>93.6</td> </tr> </tbody> </table> ※()は見通し ※1-9月平均								品名	もも肉			むね肉			正肉合計			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	R元年6月	561	564	99.5	226	272	83.1	787	836	94.1	R元年7月	543	548	99.1	222	265	83.8	765	813	94.1	R元年8月	535	539	99.3	225	263	85.6	760	802	94.8	R元年9月	544	550	98.9	235	265	88.7	779	815	95.6	R元年10月	(560)	570	98.2	(250)	270	92.6	(810)	840	96.4	R元年11月	(575)	588	97.8	(255)	274	93.1	(830)	862	96.3	R元年平均	588	596	98.7	237	285	83.2	825	881	93.6
				品名	もも肉			むね肉			正肉合計																																																																																									
当年	前年	前年比	当年		前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																											
R元年6月	561	564	99.5	226	272	83.1	787	836	94.1																																																																																											
R元年7月	543	548	99.1	222	265	83.8	765	813	94.1																																																																																											
R元年8月	535	539	99.3	225	263	85.6	760	802	94.8																																																																																											
R元年9月	544	550	98.9	235	265	88.7	779	815	95.6																																																																																											
R元年10月	(560)	570	98.2	(250)	270	92.6	(810)	840	96.4																																																																																											
R元年11月	(575)	588	97.8	(255)	274	93.1	(830)	862	96.3																																																																																											
R元年平均	588	596	98.7	237	285	83.2	825	881	93.6																																																																																											
場	2. 見通し	(1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(9月26日公表)では、8月は国内生産量が前月比で約7.5千ト減少、輸入量も前月比で約5.4千ト減少、出回り量も前月比で約10.2千ト減少、その結果期末在庫は約157.0千トと前月より微増する見込み。しかしながら前年比では、92.9%と下回る見通しとなっている。 (2) なお、9月は前月比で生産量が3.3千ト増加し、輸入量もブラジル中心に2.1千ト増加、出回り量も0.4千ト微増することから期末在庫は国産・輸入品合計で5.3千ト増加の162.3千ト(前年比99.7%)と予測されている。10月は生産量が13.3千ト増加し、輸入量は5.1千ト減少、出回り量が18.7千ト増加することから、在庫は5.3千ト減少の157.0千ト(前年比94.2%)と大幅に下回る予測となっている。		※(1)は見通し ※1-9月平均																																																																																																
				(1) 9月の平均相場は、もも肉544円/kg(前月比+9円)・むね肉235円/kg(同+10円)、正肉合計で779円/2kgと前月比で19円上回ったが前年比では36円下回った。もも肉は月初め538円で始まり、一時550円台を記録するも月中乱高下があり月末は548円で結果10円高となった。むね肉も、量販店等の特売用や加工向けに一定需要があり、月初228円・月末245円とじり高となった。		(1) 気象庁の1カ月予想では、気温は平年より高い傾向が続き、季節の歩みはゆっくりで紅葉が遅れるかもとしているが、イベント・行楽等での需要増加も期待されるため、もも肉は月平均560円と予測する。むね肉についても、引き続き量販店等での特売需要やサラダチキン向け等の加工筋の引合いも堅調で上げ基調の月平均250円と予測する。																																																																																														